

42年の歴史に幕

〜取り壊し前の議場で最後の議会〜



42年間審議を行ってきた旧議場

12月15日の最終日、今定例会で、旧庁舎で開催される議会は最後となった。

近隣市町の中でも、『立派な議場』と言われてきた阿久比町の旧議場。

天井は高く、落ち着いた赤色のじゅうたんは重厚感があり、木目調の壁はどこか暖かさを感じた。

ここへ一歩足を踏み入れると、少し空気が違うように感じ、背筋が伸び、身の引き締まる思いがした。

ピンと張りつめた空気の中、42年間、阿久比町の未来を決める重要な案件を審議してきた。

この議場ができた当時、議員の定数は28人。この間、定数削減を繰り返し、現在は半分の14人となった。

定数が減っても、熱い議論は変わらない。新しい議場での本会議が待ち遠しい。

議長新春あいさつ

新たな気持ちで



阿久比町議会議長

久保秋男

新年明けましておめでとうございます。

皆さまには、輝かしい平成28年の新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

平素は、町議会に多大のご理解とご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、4月に行われた地方統一選挙において、6年ぶりとなる女性議員2名を含む、14名の議員が誕生しました。

男性議員ばかりの時とは雰囲気も変わり、どこか柔らかな空気が漂い、明るい感じがしております。

また、1期目の議員が積極的に研修会や地域の活動に参加されており、

先輩議員への刺激にもなっております。

現在、1期目から5期目と、議員の経験年数はさまざまですが、より良い阿久比町にしたいという気持ちは、皆同じであります。

議員同士で、また、理事者側と、時には激しく議論を交わし合い、時には楽しく和やかに会話をし、メリハリのある議会にしていきたいと思っております。

さて、めでたく本年1月4日より、新庁舎へ事務機能が移転しました。町職員のみならず、議員一同、新たな気持ちで議会活動に励んでまいります。